

日本は、夢を叶えてくれる国！



プロフィール

- 出身地：インド ニューデリー
- 就農時期：2013年（当時22歳）
- 就農前の職業等：
父の仕事により、中学時代に家族で仙台市に移住。宮農高、宮城県農業大学校を卒業し、就農する。
- 家族構成：本人、父、母、兄、妹、愛犬

1. 就農の動機

カレー店を営む父の影響で、「料理人」になるのが子供の頃の夢でした。自分で食材も作れたら楽しいだろうな？！と考え、先輩の勧めもあり、宮城県農業高校に進学。そこで、農業に触れ「食の大切さ」と小さなタネから野菜ができる驚き、「作る大変さ・楽しさ」を知り、さらに、農業の知識を深めたくなり、宮城県農業大学校へ進学しました。



2. 就農準備 ～夢を持つこと・夢を口にする～

日本に来て学生時代から就農するまで、自分の夢（次の目標）を人に話すことで、いつもサポートしてくれる人が現れ、その人々の協力を得て、就農することができました。

私には単身インドから日本に来て、カレー店を開業した尊敬する父がいるので、日本語もわからないゼロからのスタートでしたが、自分にも必ずできると信じて取り組みました。

① 研修・地域決定理由

農業大学校時代に40日間のホームステイ研修を受けた美里町でたくさんの人と出会い、とても気に入り、ここで農業をしたい！と決めた。

農業大学校では、トラクターやけん引の免許、食品衛生管理士資格など、就農に必要な資格を積極的に取得。また、在学中に出会った有機野菜に感動。卒業後、1年間色麻町の有機野菜農家和田さんのところで研修を行った。

② 農地・住宅

家族で美里町に住むことを決め、まず住宅を探した。ネットで農家の空き中古物件を見つけた。

農地については、なかなか貸してくれる人が見つからなかった。

そんな時、自宅近くに住む農業委員さんから声をかけて頂き、農地75a（内パイプハウス2a）を借りることができた。

また、普及センターからアドバイスがあり、就農計画をたて、県の認定を受けた。

就農後も、農業委員さんからは、いろいろなアド



バイスを受け、助けていただいている。

③資金

経営開始時に、就農施設等資金を借入、機械やパイプハウス等の導入を行った。
経営開始後は、青年就農給付金（開始型）の給付を受け、運転資金等に活用している。

3. 現在の経営概要と特徴

①主な作目と栽培面積

露地畑：75 a
施設野菜：497㎡
栽培品目：多品目の有機野菜 約20品目

②主な保有施設・機械

- パイプハウス 4棟497㎡
- 軽トラック 1台
- トラクター 1台
- 管理機 1台
- 掘取機 1台
- ロータリーマルチ 1台

③労働力：本人のみ

④販売先：飲食店*（5割）＋個人消費者宅配（4割）＋イベント直売（1割）

※仙台・多賀城・大崎市のレストラン

⑤特徴：

お客様と顔と顔を合わせて販売！

- 農薬や化学肥料を一切使用しない有機野菜を栽培。
- 対面販売を重視している。お客様から農業以外の情報や販売した農産物の感想や料理法を教えてもらえるし、野菜ができるまでの畑の様子を話すことができるから。

4. 経営を開始しての感想

～星のきれいな美里町が好き

- ①就農後は、JAの女性部やフレッシュミズに所属し、地域の活動や行事にも積極的に参加し、自然に地域にもなじむことができた。
- ②雑草管理が非常に大変なため、今後の課題。
- ③今後は取引先のレストランのためにも、一定量を常に収穫できるような主力商品にも取り組んでいきたい。

5. 新規参入希望者へのアドバイス

★自分のためだけでなく誰かのために！

目標は、「25歳までに農家レストランを開くこと」。

農地を拡大し、雇用をつくり、自分のようにやりたい人が、気軽に農業ができる仕掛けを考えています。

年間の主な農作業スケジュール

月	作業
1月	
2月	
3月	じゃがいも播種
4月	↑ トマト定植
5月	↓
6月	↑ じゃがいも・たまねぎ収穫
7月	↓ トマト収穫
8月	↑
9月	タマネギ播種
10月	ニンジン・ほうれんそう播種
11月	タマネギ定植
12月	ニンジン・ほうれんそう収穫

人生の軌跡

決意

18歳

農業大学校に進学。
有機農業に出会う。

研修

21歳

美里町に移住。

就農

22歳

農地取得。

現在

23歳